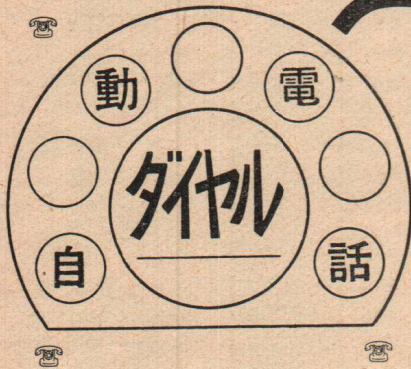


5月22日午前0時から

にきりかえします



大館電報電話局の電話は、来月の5月22日(午前0時)を期して、ダイヤル式の自動電話に切り替えになります。この切り替えによって、羽後二井田局の電話が大館局に合併になり、大館と二井田間は市内通話になります。そのほか、電話番号をはじめ、電話のかけかた、即時通話区間、料金などがつぎのように変わります。

恐ろしい火災

すでに8名の犠牲者が

最近、全国的に火災が激増しております。とくにことしは、焼死者を伴う火災事故が多く、県内でもすでに150余件の焼死者がでており、このうち9名の尊い犠牲者をだしております。

(当市では火災が16件、焼死者1人) 焼死者のほとんどが老幼病者であり、その原因をみると、寝室などの場所から容易に避難ができない場合が多く、家族のちょっとした不注意によって事故を起こしているのが現状です。

この際、一般家庭(とくにアパート等の入居者)においても、つぎの事項に注意し、火災事故を起こさぬよう、万全を期せられますようお願いいたします。

火災による人命損傷の防止は

火の始末

- (1) 就寝時には、火気使用箇所を必ず点検し、安全を確認すること。
- (2) 寝たばこ、とくに酩酊時のたばこは絶対にやめること。
- (3) 子どもの行動に注意し、火あそびは絶対にさせないようにすること。

避難

- (1) 寝室、居室などの部屋からは容易に避難ができるよう必ず避難口を設けること
- (2) 避難口付近の障害物、とくに冬囲いは、早急に除去すること。
- (3) 火災による避難の場合は手ぬぐいなどを口にまき、できるだけ姿勢をひくくし、煙を吸わないようにすること。

その他

- (1) 消火用水を常に用意しておくこと。
- (2) 火事、地震などの発生に備えて、あらかじめ訓練しておくこと。
- (3) 火災出動の際は、人命尊重の理念のもとに救命活動を優先的におこなって焼死傷者の事故防止につとめること。

◎電話番号が変わります

電話番号は市内局番「2」がついて、全部5ケタの数字になります。

3ケタの数字は110番(警察) 119番(火事)や市外通話の申し込みなどの特殊な電話です。

◎電話の使用料が度数制になります。

これまで、市内通話を多くかけるかたも、かけないかたも、まい月きまった料金をいただいておりますが、こんどは市内通話の回数に応じた料金をいただく度数料金制になり、基本料と度数料が電話使用料になります。

基本料金

種類	単独電話	秘話共同	普通共同
事務用	600円	510円	390円
住宅用	420円	360円	270円

◎市外通話がぐんと便利になります。

▶ダイヤル市外通話

秋田、能代、青森、仙台、東京、名古屋など約1000の都市がダイヤルをまわすだけでつながります。

例えば、秋田2局5432番へかけるときは、秋田の市外局番01882と、

2, 5, 4, 3, 2をダイヤルすればつながります。

▶103番申しこみ即時通話

大阪、京都、熊本など、近畿地方以遠の約700の都市とは交換手のつなぐ即時通話になります。

▶大館周辺への通話は準市内通話

比内、十二所、早口、花岡、大葛、東館へかけるときはそれぞれの市外局番をまわすと局と交換手が応答し、番号をつげるとすぐつながります。

1分間7円という準市内通話になります。

◎天気予報時報が聞けます

☎177番をまわすと秋田県地方の新しい天気予報がきけます。

また、117番をまわすと10秒きざみの正確な時刻がきけます

◎公衆電話のかけ方が変わります

市内通話をおかけになるときは、受話器をあげ、10円硬貨を入れてからダイヤルをまわすこととなります

ボックス公衆電話で市外通話をかける場合は、市内通話のように10円硬貨を入れてから、100番(既時)か106番(待時)へ申し込むこととなります。

なお、赤電話で市外通話をかける場合はお店のかたへ申しでてください。

(大館電報電話局)

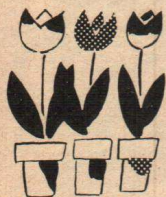
と話しあいをしてはどうでしょう。

③ 道路での遊びが多くなるので、町内や部落の人たちで注意しあったらどうでしょう。

④ 春になると、心もからだもうきうきしてきます。子どもが非行にはいりやすい時期ですので、よく自分の子どもの行動を注意してみたらどうでしょう

⑤ 学年がすすみ、子どもたちは新しい意気込みをもってすすんでいます。この気持ちをつづかせないようにしたいものです。

(大館市教育委員会)



《新入学児童のために》

5月に考えてみたいこと

新しい小学校一年生のみなさんも、もう学校になれたのではないかと思います。小・中学校のお子さんをおもちの父母のみなさんは、つぎのことを考えながら子どもをすこやかに育てようではありませんか。

① 子どもを交通事故から守るために、朝学校へ行くとき、ひとこと「車に気をつけてネ」といってあげたらどうでしょう。

② 子どもが学校から帰ってきたら、その日の学校の様子を聞いて、子ども